

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒141-0032
 住 所 東京都品川区大崎1-6-4
 氏 名 エリーパワー株式会社
 代表取締役社長 吉田 博一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

| | | | |
|---------------------|--|---------|-------------------|
| 事業者の氏名 又は名称 | エリーパワー株式会社 | | |
| 主たる事務所 又は事業所の所在地 | 神奈川県川崎市川崎区水江町4-7 | | |
| 該当する事業者 の要 | <input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者) | | |
| 主たる事業 の業種 | 大分類 | E | 製造業 |
| | 中分類 | 29 | 電気機械器具製造業 |
| 主たる事業 の内容 | 蓄電池の製造 | | |
| 事業者の規模 | <input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量 | 4,974 | k l |
| | <input type="checkbox"/> 自動車の台数 | | 台 |
| | <input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量 | | t-CO ₂ |
| 連絡先 | 担当部署 | 担当部署名 | 川崎業務部 |
| | | 所在地 | 川崎市川崎区水江町4-7 |
| | | 電話番号 | 044-276-8113 |
| | | FAX番号 | 044-280-1205 |
| | | メールアドレス | |
| ※受付欄 | | ※特記事項 | ※事業者番号 |

(第2面)

| | |
|------------------------------------|---|
| 計画期間及び報告年度 | 平成26年度 ～ 平成28年度 (報告年度 平成27年度分) |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 備 考 | 当社の環境基本方針については、ホームページにて公表しております。 http://eliipower.co.jp/policy/environment.html |

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

| | 基準年度 | 第1年度 | 第2年度 | 第3年度 | 目標排出量 |
|-----|---|--|---|----------------------------------|------------------------------|
| 排出量 | (実) 11,023 t-CO ₂ (調) 9,179 | (実) 9,881 t-CO ₂ (調) 8,223 | (実) 10,218 t-CO ₂ (調) 8,493 | (実) 0 t-CO ₂ (調) 0 | (実) 10,692 t-CO ₂ |
| 削減率 | | (実) 10.4 % (調) 10.4 | (実) 7.3 % (調) 7.5 | (実) 100.0 % (調) 100.0 | (実) 3.0 % |

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

| 原単位の活動量 | 単位 | | | | |
|-----------|------|------|------|------|--------|
| | 基準年度 | 第1年度 | 第2年度 | 第3年度 | 目標年度の値 |
| 排出量原単位等の値 | | | | | |
| 削減率 | | % | % | % | % |

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

| | |
|------|---|
| 第1年度 | 川崎事業所におけるチラーやそれに付随するポンプの運転台数の見直し、各工程作業室の室内温度の適正化、コンプレッサーの圧力設定の見直し等により、実排出量を10.4%削減することができた。 |
| 第2年度 | 温水用熱交換器のタイムスケジュール制御の実施、事務所エリア不在時の照明・空調機器の電源OFF活動により、実排出量の7.3%削減することができた。 |
| 第3年度 | |

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

| |
|--|
| |
|--|

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

| | | |
|-----------------------------------|------|--|
| 事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等) | 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> ○省エネ推進体制の活用 ○主要設備のエネルギー管理 ○冷凍機の運転パターンの見直し ○稼働率の低い機器の運転パターンの見直し ○チラーの運転台数の見直し ○空調温度管理の徹底 |
| | 第1年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○省エネ推進体制の活用 定期的に省エネルギー委員会を開催し、情報を共有、分析することにより、無駄なエネルギーを削減した。 ○稼働率の低い機器の停止 一時的に稼働率が落ちている設備の休止を実施した。 ○チラーの運転台数の見直し 自動で台数制御されているシステムを手動制御にし、チラーの運転台数を削減した。 |
| | 第2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○省エネ推進体制の活用 定期的に省エネルギー委員会を開催し、情報を共有、分析することにより、無駄なエネルギーを削減した。 ○温水用熱交換器のタイムスケジュール制御を実施し、不要時の設備停止を実施した。 ○事務所エリア不在時の照明・空調機器の電源電源OFF活動をより積極的に実施した。 |
| | 第3年度 | |
| 自動車等 (第3号該当者等) | 計 画 | |
| | 第1年度 | |
| | 第2年度 | |
| | 第3年度 | |

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

| | |
|------|----|
| 計 画 | なし |
| 第1年度 | なし |
| 第2年度 | なし |
| 第3年度 | |

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

| | |
|------|--|
| 計 画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光発電と連携して電力を蓄電するシステム等の開発及び普及促進を行う。 2. 事業所に入出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請する。 3. 廃棄物の減量化・分別化の推進する。 4. 夏季の期間、クールビズ実施する。 5. 省エネルギーを促すポスターや掲示物を各所に設置する。 |
| 第1年度 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光発電と連携して電力を蓄電するシステム等の開発及び普及促進を行った。 2. 工場に入出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した。 3. 工場からの廃棄物の減量化および分別化の推進を行った。 4. 夏季にクールビズを実施した。 5. 省エネルギーを促すポスターや掲示物を各所に設置した。 |
| 第2年度 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光発電と連携して電力を蓄電するシステム等の開発及び普及促進を行った。 2. 工場に入出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した。 3. 工場からの廃棄物の減量化および分別化の推進を行った。 4. 夏季にクールビズを実施した。 5. 省エネルギーを促すポスターや掲示物を各所に設置した。 |
| 第3年度 | |

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

| | | |
|-----|-------|-------------------|
| (実) | 9,943 | t-CO ₂ |
| (調) | 9,754 | |

イ 第3号該当者等

| | | |
|-----|--|-------------------|
| (実) | | t-CO ₂ |
| (調) | | |

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|--------------|-------------------|-----------------|-------------------------|
| 川崎事業所 | 川崎市川崎区水江町4-7 | 2951 | 蓄電池製造業 | 9,943 t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | | | t-CO ₂ |

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

| エネルギー使用量の規模 | 事業所数 |
|--------------|------|
| 400～500kl 未満 | |
| 300～400kl 未満 | |
| 200～300kl 未満 | |
| 100～200kl 未満 | |
| 100kl 未満 | |

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | | | t-CO ₂ |

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

| | |
|------|--|
| 事業所数 | |
|------|--|